

東海北陸厚生局長 殿

国立大学法人 名古屋大学
名古屋大学医学部附属病
松尾清

名古屋大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	35人
--------	-----

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	257人	259.0人	469.8人	看護補助者	35.0人	診療エックス線技師	0.0人
歯科医師	9人	28.0人	33.2人	理学療法士	15.0人	臨床検査技師	67.0人
薬剤師	65人	0.0人	65.0人	作業療法士	4.0人	衛生検査技師	1.0人
保健師	0人	0.0人	0.0人	視能訓練士	7.0人	その他	0.0人
助産師	23人	0.0人	23.0人	義肢装具士	0.0人	あん摩マッサージ指圧師	0.0人
看護師	856人	19.0人	869.4人	臨床工学士	18.0人	医療社会事業従事者	4.0人
准看護師	1人	2.0人	3.3人	栄養士	0.0人	その他の技術員	4.0人
歯科衛生士	1人	0.0人	1.0人	歯科技工士	1.0人	事務職員	418.0人
管理栄養士	7人	0.0人	7.0人	診療放射線技師	49.0人	その他の職員	270.0人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	800.0人	12.5人	812.5人
1日当たりの平均外来患者数	2,190.7人	72.1人	2,262.8人
1日当たりの平均調剤数	1,096.2人	17.7人	1,113.9人

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 特になし。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	48人	・膿疱性乾癬	3人
・多発性硬化症	58人	・広範脊柱管狭窄症	4人
・重症筋無力症	79人	・原発性胆汁性肝硬変	36人
・全身性エリテマトーデス	184人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	9人	・特発性大腿骨頭壊死症	70人
・再生不良性貧血	71人	・混合性結合組織病	9人
・サルコイドーシス	86人	・原発性免疫不全症候群	7人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・特発性間質性肺炎	5人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	200人	・網膜色素変性症	35人
・特発性血小板減少性紫斑病	79人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	17人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	295人	・神経線維腫症	22人
・大動脈炎症候群	42人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	35人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・天疱瘡	19人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	1人
・脊髄小脳変性症	46人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・クローン病	214人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	68人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患	245人	・球脊髄性筋萎縮症	1人
・アミロイドーシス	6人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1人
・後縦靭帯骨化症	37人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	41人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	6人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	51人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症	22人	・黄色靭帯骨化症	1人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害	10人
		合計	2220人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	DM腎症の網羅的遺伝子発現解析: NF- κ B、IRBに対する治療法開発	安田 宣成	CKD地域連携	1,820,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
2	抜去歯由来幹細胞による骨、歯髄、象牙質再生療法と発見的細胞治療法、同種移植研究	山田 陽一	遺伝子再生	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
3	悪性脳腫瘍の根治に向けたエピジェネティクスによるリプログラミング創薬の開発	夏目 敦至	遺伝子再生	12,610,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
4	乳歯・永久歯歯髄幹細胞のキャラクタライズと多角的保存再生療法へのパラダイムシフト	山田 陽一	遺伝子再生	9,360,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
5	悪性脳腫瘍に特異的な武装化細胞障害性T細胞を用いた養子免疫療法の開発	伊藤 元一	遺伝子再生	2,340,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
6	細胞内小領域標的ナノブィークルの開発とがん治療への応用	水野 正明	遺伝子治療	4,680,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
7	医療訴訟における証拠法規制の違いによる医療組織内の組織コミットメントに対する影響	立川 幸治	医療経営管理	2,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
8	がん薬物療法における薬剤誘発性QT延長の遺伝的要因を含めた患者要因	安藤 雄一	化学療法部	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
9	内視鏡外科手術における空気超音波走査を用いた情報支援	藤原 道隆	画像情報外科	1,690,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
10	肝再生早期におけるカルシトニンの役割とその分子機構	横山 幸浩	外科感染症	910,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
11	口腔癌に対する樹状細胞を用いた磁場誘導組織内温熱免疫療法	山本 憲幸	顎顔面外科	1,820,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
12	乳歯・永久歯由来幹細胞バンキングの有用性の検討と難治性疾患に対する再生治療研究	上田 実	顎顔面外科	8,190,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
13	セメント質および歯根膜を含む歯周組織再生を目指した歯根延長法の開発	小田 知生	顎顔面外科	1,820,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
14	ロドプシントランスジェニックウサギの系統樹立と変性過程の解析	近藤 峰生	感覚器障害	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
15	虚血性網膜疾患の分子病態解明と治療開発	寺崎 浩子	眼科	4,940,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
16	一酸化窒素合成酵素(NOS)トランスジェニックマウスの作成とその視機能解析	米今 敬一	眼科	650,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
17	OCTを用いたさまざまな網脈絡膜疾患における脈絡膜の変化の研究	伊藤 逸毅	眼科	1,950,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
18	網膜神経細胞再生を制御するメカニズムと毛様体扁平部の役割の解明	西口 康二	眼科	2,990,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
19	網膜色素変性、加齢黄斑変性への小胞体ストレスの関与とそれを標的とした治療法の研究	加地 秀	眼科	2,080,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
20	網膜電図を利用したマウス網膜神経節細胞応答の記録法の開発	上野 真治	眼科	2,470,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
21	院内感染により生じる医療費に関する診断群分類制度を用いたコスト分析の手法の開発	小野寺 陸雄	救急医学	1,560,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
22	感染創に対する細胞治療の可能性	亀井 謙	形成外科	3,640,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
23	遊離骨膜の大網膜移植に対する骨形成とアポトーシスの検討	鳥居 修平	形成外科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
24	白血病に選択性を有する分子標的治療法ならびにその評価法の開発	直江 知樹	血液内科	9,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
25	白血病残存に関わる分子細胞メカニズムの解明とその克服	直江 知樹	血液内科	4,420,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
26	抗体療法における耐性化機序の解明とその克服の研究	富田 章裕	血液内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
27	PMLのSUMO E3リガーゼ同定によるPML NB形成機構解明	早川 文彦	血液内科	1,430,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
28	原発性骨髄線維症に対する脂肪由来間葉系幹細胞を用いた細胞療法	中山 享之	血液内科	1,430,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
29	リツキシマブ治療における腫瘍側の生物学的作用機序の解明と感受性増強療法の開発	木下 朝博	血液内科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
30	慢性骨髄性白血病における分子標的治療後の残存腫瘍の高感度定量法と治療法の開発	安部 明弘	血液内科	1,430,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
31	臍帯血移植の生着・拒絶に関与する移植片中および患者末梢血中CD8陽性T細胞の解析	村田 誠	血液内科	1,430,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会
32	cyclin Cによる造血幹細胞の機能制御メカニズムの解析	宮田 泰彦	血液内科	2,210,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 文部科学省
33	白血病におけるRac上流制御因子の役割	勝見 章	血液内科	1,820,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 日本学術振興会

34	Rhoキナーゼを介したeNOS活性制御による血管内膜肥厚抑制	山本 清人	血管外科	1,170,000 円	補委	日本学術振興会
35	重症虚血肢に対するハイブリッド治療—センダイウイルス遺伝子治療と細胞移植療法—	小林 昌義	血管外科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
36	脂肪細胞由来因子をターゲットとした血管内膜肥厚に対する新しい治療戦略	古森 公浩	血管外科	10,140,000 円	補委	日本学術振興会
37	血管病変におけるNotchシグナルの役割の解析と制御による血管病治療の開発	竹下 享典	検査部	2,470,000 円	補委	日本学術振興会
38	パーキンソン病における痛み認知障害の解明と非運動症状との関連について	平山 正昭	検査部	1,950,000 円	補委	日本学術振興会
39	悪性胸膜中皮腫における肺内アスベスト濃度と遺伝子異常の関連について	横井 香平	呼吸器外科	1,820,000 円	補委	日本学術振興会
40	肺気道リモデリングにおけるメカニカルストレスの役割	伊藤 理	呼吸器内科	2,080,000 円	補委	文部科学省
41	肺非小細胞癌におけるサイド・ポピュレーションの解析による肺癌幹細胞特性の研究	近藤 征史	呼吸器内科	650,000 円	補委	日本学術振興会
42	肺がん治療標的としての上皮間葉系細胞転換 (EMT) 関連分子同定の研究	佐藤 光夫	呼吸器内科	1,170,000 円	補委	日本学術振興会
43	マイクロフルイディクスによる循環血液癌細胞検出法の開発と癌転移機構の解析	長谷川 好規	呼吸器内科	7,150,000 円	補委	日本学術振興会
44	血管内皮間葉系細胞転換機序を標的とした肺線維症および肺高血圧症の治療戦略の構築	橋本 直純	呼吸器内科	2,860,000 円	補委	日本学術振興会
45	切除不能局所進行性膵癌に対する免疫細胞療法の有効性と安全性の評価検討(第2相)	廣岡 芳樹	光学医療	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
46	経口内視鏡による安全な内視鏡的胃全層切除術の開発	宮原 良二	光学医療	1,430,000 円	補委	日本学術振興会
47	間葉系幹細胞とナノテクノロジー3次元マトリックスを用いた骨再生療法の開発	伊藤 憲治	口腔外科	910,000 円	補委	文部科学省
48	口腔粘膜由来線維芽細胞の特性と創傷治癒に与える影響について	蛭沢 克己	口腔外科	1,430,000 円	補委	日本学術振興会
49	組織工学的手法を用いた唾液腺の再生治療に関する研究	杉戸 孝行	口腔外科	1,690,000 円	補委	文部科学省
50	組織工学的手法を応用した急速骨延長法における細胞動態の検討	木下 一彦	口腔外科	1,300,000 円	補委	文部科学省
51	慢性骨髄性白血病幹細胞の同定と治療モデルの開発	南 陽介	口腔外科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
52	機能性リコンビナントミニコラーゲンと骨形成蛋白による骨再生の基礎的研究	服部 宇	口腔外科	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
53	生体内リアルタイムモニタシステムによる導入培養細胞の動態解析	日比 英晴	口腔外科	1,500,000 円	補委	日本学術振興会
54	乳歯歯髄の幹細胞特性を応用した組織工学的新規う蝕・歯周治療法の開発	中村 さやか	口腔外科	2,210,000 円	補委	文部科学省
55	Wnt/sFRPファミリー制御機構を組み込んだ新規骨再生医療の開発	片桐 渉	口腔外科	2,600,000 円	補委	文部科学省
56	歯髄幹細胞、成長因子、細胞外マトリックス改変型スキャホールドによる新規骨再生療法	吉見 涼子	口腔外科	1,274,000 円	補委	日本学術振興会
57	CD109を応用した口腔扁平上皮癌早期発見のための新規診断マーカーの探究	萩原 純孝	口腔外科	1,365,000 円	補委	日本学術振興会
58	上皮間葉転換誘導因子を標的とする卵巣癌の抗癌剤感受性増強と転移抑制治療法の開発	吉川 史隆	産婦人科	5,460,000 円	補委	日本学術振興会
59	卵巣明細胞腺癌に特異的に発現するGlypican 3の分子標的治療の確立	梅津 朋和	産婦人科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
60	難治性卵巣がんに対する新規がん胎児性抗原を標的とした免疫療法の開発	柴田 清住	産婦人科	1,690,000 円	補委	日本学術振興会
61	卵巣癌に対する新規がんウイルス・細胞療法の開発とそれを介した生体免疫系反応の解析	那波 明宏	産婦人科	1,950,000 円	補委	日本学術振興会
62	婦人科癌幹細胞の特性と上皮間葉転換	吉川 史隆	産婦人科	1,100,000 円	補委	日本学術振興会
63	難治性卵巣癌における上皮間葉転換に基づくオンコジェニックストレス耐性のメカニズム	梶山 広明	産婦人科	14,170,000 円	補委	文部科学省
64	胎盤形成関連分子の糖鎖修飾による機能制御の解明と胎盤形成不全の治療への応用	山本 英子	産婦人科	2,080,000 円	補委	文部科学省
65	ヒト顆粒膜細胞発育とPTEN誘導に関連した新規排卵誘発剤の開発	後藤 真紀	産婦人科	2,210,000 円	補委	文部科学省
66	ステロイド局所投与による内耳血流量障害および内耳炎に対する影響の検討	大竹 宏直	耳鼻いんこう科	1,170,000 円	補委	文部科学省
67	頭頸部癌における抗癌剤感受性と癌幹細胞の治療法開発	鈴木 秀典	耳鼻いんこう科	1,950,000 円	補委	文部科学省
68	遺伝子改変動物を用いた加齢性難聴および騒音性難聴の病態解明と治療への応用	寺西 正明	耳鼻咽喉科	780,000 円	補委	日本学術振興会
69	突発性難聴における血液迷路関門の破綻と血管障害関連遺伝子	中島 務	耳鼻咽喉科	5,460,000 円	補委	日本学術振興会

70	サイボーグ技術に不可欠な埋植型低インピーダンス神経用電極の開発	奥井 伸幸	手の外科	1,365,000 円	補委	日本学術振興会
71	肝門部胆管癌からの胆管癌幹細胞の分離と網羅的遺伝子解析に基づく分子標的治療の開発	柳野 正人	腫瘍外科	2,730,000 円	補委	日本学術振興会
72	複数の癌特異的遺伝子を標的にした分子標的治療の開発	國料 俊男	腫瘍外科	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
73	子宮内胎児発育不全児におけるメタボリック症候群の発症予防の栄養戦略に関する研究	早川 昌弘	周産母子	1,430,000 円	補委	日本学術振興会
74	NEPとPTENの相互作用に着目した子宮内膜症発症機序の解明と新規治療法の開発	岩瀬 明	周産母子	1,040,000 円	補委	日本学術振興会
75	妊娠高血圧症候群の病態機序へのスフィンゴシン1リン酸の関与の解明と治療への応用	伊藤 友美	周産母子	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
76	臍帯血幹細胞を用いた周産期脳障害の治療開発	佐藤 義朗	周産母子	1,339,000 円	補委	日本学術振興会
77	敗血症のリスク因子の解明と早期診断法の確立に関する研究	真弓 俊彦	集中治療部	1,430,000 円	補委	日本学術振興会
78	血管再生障害からみた糖尿病性心筋症の基礎解析と新規治療法の開発	室原 豊明	循環器内科	14,950,000 円	補委	日本学術振興会
79	慢性腎疾患における冠動脈血管内超音波を用いた網羅的探索	石井 秀樹	循環器内科	1,950,000 円	補委	文部科学省
80	脂肪組織由来間葉系前駆細胞移植による血管新生療法の試み	新谷 理	循環器内科	1,950,000 円	補委	日本学術振興会
81	新規Akt基質Girdinの血管恒常性制御機構の解明	前田 健吾	循環器内科	1,170,000 円	補委	文部科学省
82	心筋症に対する心筋微量蛋白測定と生理学的指標との関連	平敷 安希博	循環器内科	3,120,000 円	補委	文部科学省
83	脂質沈着による心肥大、心不全進展の病態の解明	奥村 健二	循環病態探索	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
84	動脈硬化性プラーク破綻の新たな分子機構—カテプシンの役割及び遺伝子治療への応用	成 憲武	循環病態探索	2,730,000 円	補委	日本学術振興会
85	MR I、PETによる小児熱性けいれん重積における側頭葉てんかん発症機序の解明	夏目 淳	小児科	650,000 円	補委	日本学術振興会
86	小児難治性急性骨髄性白血病に対するアロ反応性NK細胞による抗腫瘍メカニズムの解明	高橋 義行	小児科	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
87	マイクロアレイとヒト組織モデルによる慢性活動性EBウイルス感染症の病原因子の探索	伊藤 嘉規	小児科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
88	小児再生不良性貧血の造血障害メカニズム—制御性T細胞の関与	小島 勢二	小児科	6,370,000 円	補委	日本学術振興会
89	肺高血圧症に対する分子状水素による新規抗酸化療法の開発	加藤 太一	小児科	1,690,000 円	補委	文部科学省
90	若年型骨髄単球性白血病における多段階発症モデルの提唱	小島 勢二	小児科学	1,100,000 円	補委	日本学術振興会
91	先天性胆道拡張症の胆管組織における神経構造ならびに神経伝達物質の研究	安藤 久實	小児外科	780,000 円	補委	日本学術振興会
92	膵胆管合流異常の病態と治療に対する統合的研究	金子 健一朗	小児外科	2,340,000 円	補委	日本学術振興会
93	肝転移腫瘍に対する腫瘍溶解性ウイルスの血管内投与方法の開発	中尾 昭公	消化器外科	4,420,000 円	補委	日本学術振興会
94	胃癌腹膜転移と制癌剤感受性における癌幹細胞の役割	小寺 泰弘	消化器外科	1,040,000 円	補委	日本学術振興会
95	急性胆管閉塞にともなう肝障害におけるPPAR γ の役割について	江畑 智希	消化器外科	910,000 円	補委	日本学術振興会
96	GGTトランスジェニックマウスを用いた肝虚血/再灌流障害メカニズムの解明	菅原 元	消化器外科	2,470,000 円	補委	日本学術振興会
97	生薬を主に用いた炎症疾患に対する新しい治療戦略の構築	石黒 和博	消化器疾患	1,950,000 円	補委	日本学術振興会
98	CFTR—SLC26輸送体複合体のイオン輸送機能における低分子量G蛋白質の役割	洪 繁	消化器内科	2,400,000 円	補委	文部科学省
99	慢性膵炎発症・進展における膜蛋白の細胞内局在異常の解明	洪 繁	消化器内科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
100	薬剤溶出生担体を用いた内視鏡的粘膜切除術後食道癒着狭窄の予防	丹羽 康正	消化器内科	1,430,000 円	補委	日本学術振興会
101	大動脈瘤に対するラッピング効果とDDSを利用した低侵襲治療法の開発	江田 匡仁	心臓外科	1,690,000 円	補委	文部科学省
102	人工心肺を用いない大動脈弁狭窄症手術の開発	上田 裕一	心臓外科	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
103	動脈グラフト攣縮予防のための血管拡張薬溶出ナノファイバーの開発	成田 裕司	心臓外科	1,800,000 円	補委	日本学術振興会
104	ポリグルタミン病の病態解明とそれに基づく治療法の開発	祖父江 元	神経内科	33,400,000 円	補委	文部科学省
105	ポリグルタミン病の分子シャペロン—UPS系を介する病態の解明と治療法の開発	足立 弘明	神経内科	5,330,000 円	補委	日本学術振興会

106	分子標的を介するポリグルタミン病の根本治療法の開発	祖父江 元	神経内科	41,860,000 円	補委	日本学術振興会
107	家族性アミロイドポリニューロパチーのアミロイド沈着機構の解明と治療への応用	小池 春樹	神経内科	1,690,000 円	補委	日本学術振興会
108	パーキンソン病の幻視の発現病態機序の解明	川合 圭成	神経内科	2,340,000 円	補委	日本学術振興会
109	ポリグルタミン病の病態抑止治療と神経賦活治療の併用療法	足立 弘明	神経内科	2,100,000 円	補委	日本学術振興会
110	孤発性ALSのオートファジー機能解明と新規疾患モデルの確立	田中 章景	神経内科	3,100,000 円	補委	日本学術振興会
111	難治性慢性免疫性ニューロパチーへの抗モノクローナル抗体療法への応用	飯島 正博	神経内科	1,950,000 円	補委	文部科学省
112	近赤外線酸素モニターを用いた注意欠陥多動性障害に対する薬物療法の客観的評価法開発	吉川 徹	親と子ども	650,000 円	補委	文部科学省
113	アジア系人種における慢性腎臓病疫学調査:Cr標準化と慢性腎臓病有病率の解析	松尾 清一	腎臓内科	4,940,000 円	補委	日本学術振興会
114	IgA腎症患者の扁桃における遺伝子発現	今井 圓裕	腎臓内科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
115	メタボローム解析による新規AKIバイオマーカーの網羅的探索と検査薬の開発	松尾 清一	腎臓内科	12,220,000 円	補委	日本学術振興会
116	脂肪由来細胞を用いた腎疾患治療の開発—再生促進作用と免疫抑制作用の融合—	丸山 彰一	腎臓内科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
117	CAPD患者の腹膜機能不全に対する血管・リンパ管新生を中心とした病態解明と対策	伊藤 恭彦	腎不全治療	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
118	長期腹膜透析の可能性に向けた、補体学的アプローチ	水野 正司	腎不全治療	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
119	高齢者の運動機能評価の長期縦断的研究と運動機能向上に関する介入プログラムの開発	長谷川 幸治	整形外科	2,730,000 円	補委	日本学術振興会
120	乳癌骨転移に対する新規保存的治療法についての基礎研究—ヒアルロン酸制御による—	西田 佳弘	整形外科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
121	軟骨細胞の代謝に対する各種薬剤の影響の検討—スクリーニングシステムの構築—	石黒 直樹	整形外科	1,500,000 円	補委	日本学術振興会
122	脊髄損傷に対するコンドロイチナーゼABC, ケラタナーゼの治療効果	今釜 史郎	整形外科	1,950,000 円	補委	文部科学省
123	バイオリクターを用いた骨形成促進治療の研究—臨床使用可能な器材の開発—	石黒 直樹	整形外科	5,850,000 円	補委	日本学術振興会
124	培養骨髄細胞移植による骨再生技術の確立—ストレス刺激培養法の有用性の検討—	鬼頭 浩史	整形外科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
125	交差緩和率イメージングECRIと質量解析に関する研究	筑紫 聡	整形外科	2,080,000 円	補委	文部科学省
126	認知機能と神経画像を中間表現型とする統合失調症の分子病態解明	尾崎 紀夫	精神医学	5,720,000 円	補委	日本学術振興会
127	14-3-3εを標的とした統合失調症と気分障害の分子病態解明	尾崎 紀夫	精神医学	3,800,000 円	補委	文部科学省
128	プロテオーム解析による統合失調症と双極性障害の病態に共通する分子の探索	尾崎 紀夫	精神医学	1,600,000 円	補委	日本学術振興会
129	成人における顔認知メカニズムの解明	飯高 哲也	精神生物	11,050,000 円	補委	文部科学省
130	機能的MRIと拡散テンソル画像を用いた脳領域間連結性についての研究	飯高 哲也	精神生物	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
131	トランスセオレティカル・モデルに基づいた保健指導プログラムの有用性の検討	佐藤 寿一	総合診療科	910,000 円	補委	日本学術振興会
132	慢性疲労症候群に対する漢方治療と認知行動療法を融合した集学的な治療戦略の確立	伴 信太郎	総合診療科	9,620,000 円	補委	日本学術振興会
133	患者中心のコミュニケーション教育プログラム(PEAC)の開発とその評価	鈴木 富雄	総合診療科	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
134	スキルスラボ教育を活性化させる非常勤医師再教育プログラム開発	伴 信太郎	総合診療科	1,800,000 円	補委	日本学術振興会
135	アジアにおける造血細胞移植登録システムの構築	鈴木 律朗	造血細胞移植	1,950,000 円	補委	日本学術振興会
136	新規下垂体糖蛋白ホルモン、サイロスティムリンの生理機能の探索	長崎 弘	代謝性疾患	910,000 円	補委	日本学術振興会
137	メタリックシンドロームの新規治療標的としての脂肪細胞S1P受容体の研究	濱田 洋司	代謝性疾患	910,000 円	補委	日本学術振興会
138	エネルギーバランスにおける弓状核GABAシステムの機能解析	有馬 寛	糖尿病内分泌	650,000 円	補委	日本学術振興会
139	浸透圧性脱髄モデルにおける脱髄修復機構の分子病態的解析	相村 益久	糖尿病内分泌	2,210,000 円	補委	日本学術振興会
140	糖尿病性足潰瘍の病態解明と間葉系幹細胞による新規治療法	柴田 大河	糖尿病内分泌	2,340,000 円	補委	文部科学省
141	キナーゼ阻害剤感受性パネルに基づく白血病の層別化	清井 仁	難治感染	4,700,000 円	補委	文部科学省

142	FLT3分子の糖鎖修飾と細胞内局在に基づく標的阻害効果増強法の検討	清井 仁	難治感染	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
143	臍帯血移植後の腫瘍抗原およびアロ抗原に対する免疫反応の解析	西田 徹也	難治感染症	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
144	癌特異的変異タンパクを標的とした甲状腺乳頭癌及び未分化癌に対する治療法の開発	菊森 豊根	乳腺内分泌外科	1,690,000 円	補委	日本学術振興会
145	遺伝子異常モデルマウスを用いた内耳血管条障害の解明と保護作用	曾根 三千彦	認知言語医学	650,000 円	補委	日本学術振興会
146	MRIを用いた新しい血流解析法による脳動脈瘤の増大、破裂機序の解明	宮地 茂	脳血管内治療	2,600,000 円	補委	日本学術振興会
147	脳深部刺激術を支援する新しい画像誘導・電気生理学的ナビゲーションシステムの開発	梶田 泰一	脳神経外科	7,020,000 円	補委	日本学術振興会
148	新規抗腫瘍効果判定を目指した分子標的イメージング診断薬の開発と臨床応用	若林 俊彦	脳神経外科	9,750,000 円	補委	日本学術振興会
149	脳神経外科画像誘導手術における高度な画像統合技術確立に関する研究	藤井 正純	脳神経外科	2,470,000 円	補委	日本学術振興会
150	ヒト脳腫瘍を病理学的に反映したマウスモデルの開発と応用	百田 洋之	脳神経外科	1,950,000 円	補委	文部科学省
151	統合失調症モデル動物および死後脳における神経病理学的検討	入谷 修司	発達老年精神	910,000 円	補委	日本学術振興会
152	低血清培養法による脂肪由来幹細胞を用いた腎障害治療におけるニッチ	山本 徳則	泌尿器	910,000 円	補委	日本学術振興会
153	気腹圧が腎微小循環に与える影響	服部 良平	泌尿器	520,000 円	補委	日本学術振興会
154	下部尿路閉塞に伴う膀胱微小循環の変化と交感神経遮断薬の微小循環に対する効果の検討	後藤 百万	泌尿器	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
155	腎部分切除術後の腎機能回復に及ぼす自己脂肪組織由来幹細胞の有用性に関する研究	佐々 直人	泌尿器	4,290,000 円	補委	日本学術振興会
156	がん化学療法におけるバイオマーカーを用いた腎微小循環障害の病態解明と再生治療	吉野 能	泌尿器	2,340,000 円	補委	日本学術振興会
157	多数の分子複合体からセントロメア自己抗原を選択誘導する刺激応答の解明	室 慶直	皮膚科	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
158	色素異常症の病態解明により明らかにするメラニン生成調節機構の研究	富田 靖	皮膚科	3,640,000 円	補委	日本学術振興会
159	メラノサイトが表皮分布するモデルマウスによる遺伝性対側性色素異常症の病態解明	河野 通浩	皮膚科	2,340,000 円	補委	日本学術振興会
160	尋常性乾癬のケラチノサイト増殖に対するシクロスポリンの作用機序の解明	横田 憲二	皮膚科	2,730,000 円	補委	文部科学省
161	悪性脳腫瘍(グリオーマ)に対するFDG-PETの有効性にかんするメタアナライシス	二橋 尚志	放射線科	2,600,000 円	補委	文部科学省
162	交感神経興奮に伴う肺血管透過性亢進機序の解明とARDS治療法の開発	西脇 公俊	麻酔科	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
163	麻酔薬剤の血管新生に対する影響	江間 義朗	麻酔科	1,300,000 円	補委	文部科学省
164	拒絶反応と免疫順応・寛容に関与する抗原、抗体、補体、炎症、凝固のダイナミズム解析	小林 孝彰	免疫機能制御	4,160,000 円	補委	日本学術振興会
165	内皮細胞における抗原抗体反応後に起こるシグナル伝達に関する研究	岩崎 研太	免疫機能制御	1,040,000 円	補委	日本学術振興会
166	ドナー特異的制御性T細胞解析による移植後の新しい免疫寛容評価法の確立	羽根田 正隆	免疫機能制御	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
167	ドーパミン関連神経精神疾患モデルにおけるtPAの動態と機能解析	山田 清文	薬剤部	3,120,000 円	補委	日本学術振興会
168	新規薬物依存タンパクshatiの生理機能解析	新田 淳美	薬剤部	1,300,000 円	補委	日本学術振興会
169	新規脳内薬物トランスポーターの機能解析と中枢神経疾患治療への応用	中島 晶	薬剤部	5,460,000 円	補委	日本学術振興会
170	薬理学・免疫学・分子生物学的解析を用いた免疫抑制療法の個別化	葛谷 孝文	薬剤部	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
171	神経・精神疾患に関与する新規分子の機能解明および臨床応用への可能性	新田 淳美	薬剤部	7,410,000 円	補委	日本学術振興会
172	プロテオミクスを基盤とした統合失調症の新規治療標的分子の探索	永井 拓	薬剤部	3,120,000 円	補委	文部科学省
173	メタボリック症候群にともなう血栓症発症の分子病態の解明とその制御	山本 晃士	輸血部	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
174	リンパ球ヒッチハイク法による抗腫瘍ウイルス療法	粕谷 英樹	留学生専門	1,560,000 円	補委	日本学術振興会
175	高齢者介護施設における整容・美容ケアマネジメントシステムの構築	平川 仁尚	老年科	1,170,000 円	補委	文部科学省
176	細胞老化制御による進行動脈硬化症治療—本邦高齢者へのオーダーメイド治療を目指す—	林 登志雄	老年科	2,080,000 円	補委	日本学術振興会
177	アルツハイマー病における自律神経機能評価などによる中枢神経機能評価の試み	梅垣 宏行	老年科	2,860,000 円	補委	日本学術振興会

178	ケアマネージャーによる要介護者・主介護者に対する複合的介入ーランダム化比較試験ー	葛谷 雅文	老年科学	1,400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
179	高齢女性の動脈硬化性疾患予防と健康長寿を目指すアジア老年医学研究	林 登志雄	老年内科	4,550,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	日本学術振興会
180	不妊に悩む男女の実態に関する調査研究	岩瀬 明	周産母子センター	5,257,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	愛知県
181	グリア細胞株由来神経栄養因子の産生を誘導するペプチドの緑内障治療薬としての応用	新田 淳美	薬剤部	1,170,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人科学技術振興機構
182	難治性ニューロパチーの病態に基づく治療法の開発	小池 春樹	神経内科	750,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立精神・神経センター
183	超撥水性膜を用いた細胞培養法による四肢再生技術	建部 将広	整形外科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人科学技術振興機構
184	近赤外線を用いた周囲組織を透視可能な内視鏡技術の開発	山本 美知郎	リハビリテーション部	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	独立行政法人科学技術振興機構
185	治癒切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関する研究	中山 吾郎	消化器外科二	73,500 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	財団法人先端医療振興財団
186	頸動脈ステント留置術後の血管イベントの発症に関する前向き観察(IDEALCAST)	宮地 茂	脳神経外科	31,500 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	財団法人先端医療振興財団
187	老年医学的総合機能評価(CGA:comprehensive geriatric assessment)の研究開発及びCGA活用による	梅垣 宏行	老年内科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
188	入院・入所者が主に高齢で構成される医療機関等における院内感染対策、感染防御対策等に関する研究	八木 哲也	中央感染御部	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
189	高齢者がん患者、在宅疼痛治療患者等における高齢者の特性に対応した治療法選択等に係る研究	宮原 良二	光学医療診療部	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
190	高齢者(認知症等の疾患等を有する者を含む。)における運動器疾患(骨折、関節疾患)に係る調査研究	小嶋 俊久	整形外科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
191	高齢者認知症患者における薬物療法における治療効果の実態把握に係る研究	熱田 直樹	神経内科	850,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
192	治癒切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関する研究	椰野 正人	消化器外科一	73,500 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	財団法人先端医療振興財団
193	脳血管内治療の術後抗血栓療法に関する研究(ACOUNT)	宮地 茂	脳神経外科	52,500 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	財団法人先端医療振興財団
194	CKDの早期発見、予防、治療標準化、進展阻止に関する調査研究	今井 圓裕	腎臓内科	15,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
195	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	大磯 ユタカ	糖尿病内分泌内科	57,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
196	ADH分泌異常症(尿崩症)を呈するリンパ球性漏斗下垂体後葉炎の診断マーカーの開発に向けた患者検体の収集	大磯 ユタカ	糖尿病内分泌内科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
197	高齢者の経口摂取の維持ならびに栄養ケア・マネジメントの活用に関する研究	葛谷 雅文	老年科	17,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
198	高齢者の在宅終末期ケアの標準化および指針策定に向けた基礎的研究	葛谷 雅文	老年科	6,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
199	慢性炎症性脱髄性多発神経炎の臨床情報・生体試料バンクの構築	小池 春樹	神経内科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
200	先天性角化不全症の効果的診断法の確立と治療ガイドラインの作成に関する研究	小島 勢二	小児科	9,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
201	球脊髄性筋萎縮症に対する酢酸リユープロレリンの効果に関する研究	祖父江 元	神経内科	##### 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
202	治験の実施に関する研究(酢酸リユープロレリン)	祖父江 元	神経内科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
203	老化に伴う神経変性疾患の標準的医療確立のための長期縦断疫学研究	祖父江 元	神経内科	13,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
204	筋萎縮性側索硬化症患者の遺伝子・生体試料バンクの構築	祖父江 元	神経内科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
205	筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療法の開発	祖父江 元	神経内科	38,640,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
206	球脊髄性筋萎縮症のデータベースおよび生体試料バンク構築	田中 章景	神経内科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
207	内外リンパ腔画像からみた内耳疾患の病態と局所療法	中島 務	耳鼻咽喉科	11,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
208	糖尿病患者における心血管イベント発症に関する後ろ向きコホートに関する研究	林 登志雄	老年科	14,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
209	進行性腎障害に関する研究	松尾 清一	腎臓内科	63,050,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
210	(研究成果発表会)難聴、耳鳴、めまいと日常生活～突発性難聴とメニエル病を中心に～	中島 務	耳鼻科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	厚生労働省
211	iPS細胞由来血管前駆細胞を用いた新規血管再生医療の展開研究	室原 豊明	循環器内科	49,920,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
212	変異チロシンキナーゼを標的とした白血病治療薬の開発	直江 知樹	血液・腫瘍内科	78,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)医薬基盤研究所
213	医歯薬学分野に関する学術同行の調査・研究	寺崎 浩子	眼科	3,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)日本学術振興会
214	孤発性ALSのモデル動物作成を通じた分子標的治療法開発	祖父江 元	神経内科	54,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)科学技術振興機構

215	脳腫瘍のアルキル化抗癌剤耐性タンパク活性のPETイメージング診断法の開発	若林 俊彦	脳神経外科	1,166,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)科学技術振興機構
216	インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト	梶田 泰一	脳神経外科	36,029,700 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国新エネルギー産業技術総合開発機構
217	気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究 [分担研究課題名]妊産婦に生じるうつ病の生物心理社	尾崎 紀夫	精神科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立精神・神経センター
218	抗原特異的細胞障害性T細胞(CTL)の閉鎖調製キットの開発とその臨床応用	小島 勢二	小児科	3,811,974 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(財)科学技術交流財団
219	感覚センサーと脳をつなぐインターフェースの開発	平田 仁	手の外科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)科学技術振興機構
220	人工心肺を用いない大動脈弁狭窄症手術法の開発	碓氷 章彦	胸部外科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)科学技術振興機構
221	Hsp90阻害剤によるポリグルタミン病の治療法の開発	足立 弘明	神経内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)科学技術振興機構
222	カテーテルインターベンションの教育訓練システムの構築と有効性に関する研究	宮地 茂	脳神経外科	800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立循環器病センター
223	小児期特異的血液疾患の分子遺伝子学的解明 (分担課題名:先天性骨髄機能不全の分子遺伝子学的	小島 勢二	小児科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	記憶発達医療センター
224	前立腺手術周術期管理の標準化に関する研究 【分担研究項目】前立腺全摘除術の合併症に関する前	服部 良平	泌尿器科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
225	高齢者の感覚器(視覚・聴覚)における機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	中島 務	耳鼻咽喉科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
226	高齢者の感覚器(視覚・聴覚)における機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	寺西 正明	耳鼻咽喉科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
227	高齢者の感覚器(視覚・聴覚)における機能低下等に対する実態把握と予防・治療法の標準化に関する研究	寺崎 浩子	眼科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
228	認知症、運動器疾患等の長寿(老年)医療に係るネットワーク等社会基盤構築に関する研究	葛谷 雅文	老年科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
229	認知症、運動器疾患等の老年病罹患状況及び高齢者の心身状況把握のための長期疫学的調査研究	葛谷 雅文	老年科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
230	高齢者がん患者、在宅疼痛治療患者等における高齢者の特性に対応した治療法選択等に係る研究	佐藤 光夫	呼吸器内科	1,800,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
231	高齢者(認知症等の疾患等を有するものを含む。)における運動器疾患(骨折、関節疾患)に係る調査研究	松山 幸弘	整形外科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	国立長寿医療センター
232	骨・筋肉関連疾患における遺伝情報に応じた個別化医療の実現(筋萎縮性側索硬化症関連遺伝子の探索と臨	祖父江 元	神経内科	10,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	文部科学省
233	中空コアファイバと量子ドットによる脳腫瘍細胞検出技術の開発	水野 正明	脳神経外科	4,609,800 円	<input checked="" type="checkbox"/>	補委	(独)科学技術振興機構

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「レ」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
1	Retina	Concentration of vascular endothelial growth factor in aqueous humor of eyes with advanced retinopathy of prematurity before and after intravitreal injection of bevacizumab.	Nonobe NI, Kachi S (et al)	眼科
2	Ophthalmic Res	Triamcinolone-assisted removal of internal limiting membrane enhances the effect of vitrectomy for diabetic	Yamakoshi T, Kachi S (et al)	眼科
3	Interact Cardiovasc Thorac Surg.	Good syndrome accompanied by pure red cell aplasia.	Taniguchi T	呼吸器外科
4	J Thorac Cardiovasc Surg.	Total thoracic aorta reconstruction against graft infection in a patient with chronic empyema developed after lung cancer surgery.	Yokote J	呼吸器外科
5	Kyobu Geka	Thymolipoma associated with myasthenia gravis	Taniguchi T	呼吸器外科
6	Gen Thorac Cardiovasc Surg.	Thymoma concomitant with a right aortic arch.	Ohata N	呼吸器外科
7	Eur J Cardiothorac Surg.	Can non-performance of radical systematic mediastinal lymphadenectomy be justified in elderly lung cancer patients? An evaluation using propensity-based survival analysis.	Okasaka T	呼吸器外科
8	Lung Cancer	Preoperative evaluation of the depth of chest wall invasion and the extent of combined resections in lung cancer patients.	Kawaguchi K	呼吸器外科
9	Carcinogenesis	Combined inhibition of MET and EGFR suppresses proliferation of malignant mesothelioma cells.	Kawaguchi K	呼吸器外科
10	Pharmacopsychiatry	Successful treatment of severe antidepressant-induced nausea with a combination of milnacipran and olanzapine	尾崎紀夫	精神科
11	Psychiatry Clin Neurosci	Distribution of neurofibrillary tangles in diffuse neurofibrillary tangles with calcification	尾崎紀夫	精神科
12	Mitochondrion	Analysis of mitochondrial DNA variants in Japanese patients with schizophrenia	尾崎紀夫	精神科
13	Psychiatry Res	The Disrupted-in-Schizophrenia-1 Ser704Cys polymorphism and brain morphology in schizophrenia	尾崎紀夫	精神科
14	Psychiatry Clin Neurosci	Practice-based depression screening for psychiatry outpatients: feasibility comparison of two-types of Center for Epidemiologic Studies Depression Scales	尾崎紀夫	精神科
15	Psychiatry Clin Neurosci	Use of questionnaire infeasibility in order to detect cognitive disorders: example of the Center for Epidemiologic Studies Depression Scale in psychiatry	尾崎紀夫	精神科
16	Stress	Shifting the balance of brain tryptophan metabolism elicited by isolation housing and systemic administration of lipopolysaccharide in mice	尾崎紀夫	精神科
17	Neurosci Res	Genetic association analysis of serotonin 2A receptor gene (HTR2A) with bipolar disorder and major depressive disorder in the Japanese population	尾崎紀夫	精神科
18	Schizophr Res	BDNF is not associated with schizophrenia: data from a Japanese population study and meta-analysis	尾崎紀夫	精神科
19	Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Preliminary genome-wide association study of bipolar disorder in the Japanese population	尾崎紀夫	精神科
20	Psychiatry Res	Gender difference in relationship between anxiety-related personality traits and cerebral brain glucose metabolism	尾崎紀夫	精神科
21	Urology	Direct visualization of renal hemodynamics affected by carbon-dioxide induced pneumoperitoneum	N.Sassa, R.Hattori, T.Yamamoto, M.Kato, T.Komatsu, Y.Matsukawa, Y.Eunahashi	泌尿器科
22	World J. Urol.	Pure laparoscopic complete excision of distal ureter with a bladder cuff for upper urinary urethelial carcinoma	R.Hattori, Y.Yoshino, T.Komatsu, Y.Matsukawa, Y.Oga	泌尿器科

23	J.Endourol.	Laparoscopic radical nephrectomy for large renal-cell carcinomas	R.Hattori, O.Kamihira, Y.Yoshino, F.Tsuchiya, T.Fujita, S.Yamada, Y.Funahashi, Y.Ono,	泌尿器科
24	Urology	Change in contralateral renal parenchymal volume 1 week after unilateral nephrectomy	Y.Funahashi, R.Hattori, T.Yamamoto, O.Kamihira, Y.Moriya, M.Gotoh	泌尿器科
25	Eur Urol.	Ischemic renal damage after nephron-sparing surgery in patients with normal contralateral kidney	Y.Funahashi, R.Hattori, T.Yamamoto, O.Kamihira, K.Kato,	泌尿器科
26	J.Clin.Microbiology	Multiplex real-time PCR assay for quantifying BK polyomavirus, JC polyomavirus, and adenovirus DNA simultaneously	Y.Funahashi, S.Iwata, Y.Ito, S.Kojima, T.Yoshikawa, R.Hattori, M.Gotoh, Y.Nishiyama, H.Kimura	泌尿器科
27	Int.J.Urol.	Urodynamic evaluation of vesicourethral function following laparoscopic radical prostatectomy: comparison with open radical prostatectomy	Y.Matsukawa, R.Hattori, T.Komatsu, Y.Yoshikawa, Y.Ono,	泌尿器科
28	Acta Otolaryngol 129(11):1169-74. 2009	Endolymphatic space imaging in patients with delayed endolymphatic hydrops.	Kasai S, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
29	Eur Arch Otorhinolaryngol 267(5):811-6. 2010	Changes in laryngeal sensation evaluated with a new method before and after radiotherapy.	Ozawa K, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
30	Acta Otolaryngol Suppl 560 : 43-7, 2009	3D computerized model of endolymphatic hydrops from specimens of temporal bone.	Teranishi M, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
31	Acta Otolaryngol 130(3):338-43. 2010	Endolymphatic hydrops revealed by intravenous gadolinium injection in patients with Meniere's disease.	Nakashima T, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
32	Acta Otolaryngol 130(5):632-6. 2010	3D-FLAIR MRI in facial nerve paralysis with and without audio-vestibular disorder.	Nakata S, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
33	Magn Reson Med Sci. 8(1) : 43-6, 2009	Endolymphatic hydrops of the labyrinth visualized on noncontrast MR imaging: a case report.	Naganawa S, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
34	Laryngoscope 119(5) : 938-43, 2009	Endothelin-1 gene polymorphism and hearing impairment in elderly Japanese.	Uchida Y, et al	国立長寿医療センター耳鼻咽喉科
35	Int J Pediatr Otorhinolaryngol 3(7) : 1003-5. 2009	Intratympanic membrane congenital cholesteatoma.	Yoshida T, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
36	Laryngoscope 119(12) : 2480-2, 2009	In reference to Randomized, double blind, placebo controlled trial on the safety and efficacy of continuous intratympanic dexamethasone delivered via a round window catheter for severe to profound sudden idiopathic sensorineural hearing loss after failure of systemic therapy (Laryngoscope 119:359-369, 2009).	Nakashima T, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University

37	Neuroradiology 51(12) : 855-63, 2009	Increased signal intensity of the cochlea on pre- and post-contrast enhanced 3D-FLAIR in patients with vestibular schwannoma.	Yamazaki M, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
38	Audiol Neurotol. 15(4) : 254-260., 2009	Relationship between the Degree of Endolymphatic Hydrops and Electrocochleography.	Yamamoto M, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
39	Magn Reson Med Sci. 8(4): 187-91, 2009	Detection of presumed hemorrhage in the ampullar endolymph of the semicircular canal: a case report.	Naganawa S, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
40	Otol Neurotol 31(3):549-50. 2010	Round window surgery.	Nakashima T, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
41	Acta Otolaryngol. 130(6):665-9. 2010	3 Tesla magnetic resonance imaging obtained 4 hours after intravenous gadolinium injection in patients with sudden deafness.	Tagaya M, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
42	J Magn Reson Imaging 31(1) : 210-4, 2010	Three-dimensional (3D) visualization of endolymphatic hydrops after intratympanic injection of Gd-DTPA: optimization of a 3D-real inversion-recovery turbo spin-echo (TSE) sequence and application of a 32-channel head coil at 3T.	Naganawa S, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
43	Laryngoscope 120(4):791-5. 2010	Association of the C677T polymorphism in the methylenetetrahydrofolate reductase gene with sudden sensorineural hearing loss.	Uchida Y, et al	国立長寿医療センター耳鼻咽喉科
44	Acta Otolaryngol 130(8):917-23. 2010	Relationship between endolymphatic hydrops and vestibular-evoked myogenic potential.	Katayama N, et al	Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
45	Auris Nasus Larynx. 2010 Aug;37(4):496-9.	The Ala54Thr polymorphism in the fatty acid-binding protein 2 (FABP2) gene is associated with hearing impairment: A preliminary report.	Uchida Y, et al	国立長寿医療センター耳鼻咽喉科
46	Auris Nasus Larynx 37(2) : 220-2. 2010	Changes in endolymphatic hydrops in a patient with Meniere's disease observed using magnetic resonance imaging.	Sone M, et al	Dept. of Radiology, Dept. of Otorhinolaryngology Nagoya University
47	Audiology Japan 52 : 179-87, 2009	突発性難聴の画像所見と病態	中島 務	名古屋大学耳鼻咽喉科
48	J Minim Invasive Gynecol	Three-dimensional CT Angiography Is Useful for Diagnosis of Postabortion Uterine Hemorrhage: 3 Case Reports and Review of the Literature	UMEZU TOMOKAZU	放射線科
49	Am J Med Sci	Differential Th1/Th2 chemokine expression in interstitial pneumonia	HONDA TOYOHIRO	放射線科
50	Acta Paediatrica	Three-dimensional visualization of renal artery stenosis by 64-channel multiple detector-row computed tomographical angiography: review of two paediatric cases	UEDA NORISI	放射線科
51	Neurol Med Chir	Changes in regional blood flow induced by unilateral subthalamic nucleus stimulation in patients with Parkinson's disease	TANEI TAKAFUMI	放射線科
52	Magn Reson Med	Detection of presumed hemorrhage in the ampullar endolymph of the semicircular canal: a case report	NAGANAWA SHINJI	放射線科
53	Eur J Radiol	Virtual bronchoscopy-guided transbronchial biopsy for aiding the diagnosis of peripheral lung cancer	IWANO SHINGO	放射線科
54	Current Medical Imaging Reviews	Three-Dimensional Intravenous Digital Subtraction Angiography Using Flat Panel Detector System in Vascular Mapping of the External Carotid Artery: A Comparison with 3-Dimensional Computed Tomography Angiography.	TSUTSUMI YOSHINORI	放射線科
55	Acad Radiol	Semi-automatic volumetric measurement of lung cancer using multi-detector CT effects of nodule characteristics	IWANO SHINGO	放射線科

56	JOURNAL OF MAGNETIC RESONANCE IMAGING	Three-dimensional (3D) visualization of endolymphatic hydrops after intratympanic injection of Gd-DTPA: optimization of a 3D-real inversion-recovery turbo spin-echo (TSE) sequence and application of a 32-channel head coil at 3T	NAGANAWA SHINJI	放射線科
57	Amyotroph Lateral Scler	Correlation between pyramidal tract degeneration and widespread white matter involvement in amyotrophic lateral sclerosis: a study with tractography and diffusion-tensor imaging	SENDA JOE	放射線科
58	World J Surg	A Phase I Study of Intraoperative Radiotherapy for Early Breast Cancer in Japan	SAWAKI MASATAKA	放射線科
59	Acta Otolaryngol	Endolymphatic space imaging in patients with delayed endolymphatic hydrops	KASAI SACHIO	放射線科
60	Phys Med Biol	An experimental attenuation plate to improve the dose distribution in intraoperative electron beam radiotherapy for breast cancer	OSHIMA TAKASH	放射線科
61	Eur Heart J	Relation of functional and morphological changes in mitochondria to myocardial contractile and relaxation reserves in asymptomatic to mildly symptomatic patients with hypertrophic cardiomyopathy	UNNO KAZUMASA	放射線科
62	Ann Nucl Med	Comparisons of I-123 diagnostic and I-131 post-treatment scans for detecting residual thyroid tissue and metastases of differentiated thyroid cancer	IWANO SHINGO	放射線科
63	Clin Radiol	Lymphoplasmacytic sclerosing cholangitis: assessment of clinical, CT, and pathological findings	ITO SHIGEKI	放射線科
64	Neuroradiology	Increased signal intensity of the cochlea on pre- and post-contrast enhanced 3D-FLAIR in patients with vestibular schwannoma	YAMAZAKI MASAHIRO	放射線科
65	Otol Neurotol	Individual Differences in the Permeability of the Round Window: Evaluating the Movement of Intratympanic Gadolinium Into the Inner Ear	YOSHIOKA MAYUMI	放射線科
66	Eur Arch Otorhinolaryngol	Image evaluation of endolymphatic space in fluctuating hearing loss without vertigo	TERANISHI MASAACKI	放射線科
67	Auris Nasus Larynx	Changes in endolymphatic hydrops in a patient with Meniere's disease observed using magnetic resonance imaging	SONE MICHIKO	放射線科
68	Abdom Imaging	Stenosis of the third portion of the duodenum due to bleeding from the anterior pancreaticoduodenal artery: assessment by multiphase contrast-enhanced examination with multislice CT	ITO SHIGEKI	放射線科
69	Eur J Nucl Med Mol Imaging.	Evaluation and comparison of (11)C-choline uptake and calcification in aortic and common carotid arterial walls with combined PET/CT	KATO KATSUHIKO	放射線科
70	Proc. Intl.Soc.Meg.Reson.Med	3D visualization of endolymphatic hydrops after intratympanic injection of Gd-DTPA; optimization of 3D-real IR TSE sequence and utilization of 32ch head coil at 3T	NAGANAWA SHINJI	放射線科
71	British Journal of Surgery:96:926-934	The concept of perihilar cholangiocarcinoma is valid	Ebata T,Kamiya J,Nishio H,et al	腫瘍外科
72	Surgery (1)51-56	Clinical value of additional resection of a margin-positive proximal bile duct in hilar cholangiocarcinoma	Shingu Y,Ebata T,Nishio H,et al	腫瘍外科
73	World Journal of Surgery 33(7);1459-67:2009	Value of multidetector row CT in the assessment of longitudinal extension of cholangiocarcinoma: correlation between MDCT and microscopic findings.	Senda Y, Nishio H, Oda K, Yokoyama Y, Ebata T, Igami T, Sugiura T, Shimoyama Y, Nimura Y, Nagino M.	腫瘍外科

74	臨床血液 50(10):1444-1452	小児再生不良性貧血における診断と治療の進歩(総説)	小島勢二	小児科
75	臨床血液 50(7):532-537	鉄代謝・骨髄機能不全 再生不良性貧血における治療選択のためのアルゴリズム(解説)	小島勢二	小児科
76	ガイドラインパースペクティブ/医薬ジャーナル社 pp303-313	造血幹細胞移植—小児再生不良性貧血	小島勢二	小児科
77	Annual Review/中外医学社 pp50-55	再生不良性貧血と制御性T細胞	小島勢二	小児科
78	血液診療エキスパート/中外医学社 pp145-153	小児再生不良性貧血	小島勢二	小児科
79	JOURNAL OF NEPHROLOGY 22(5):610-615	Beneficial effect of chlorambucil in steroid-dependent and cyclophosphamide-resistant minimal change nephrotic syndrome.	上田典司	成長発達医学
80	Acta Paediatr DOI:10.1111/j.1651-2227.2009.01560x	Three-dimensional visualization of renal artery stenosis by 64-channel multiple detector-row computed tomographical angiography:review of two pediatric cases.	上田典司	成長発達医学
81	未熟児新生児学会誌 22(1):26-29	若者よ 論文をかこう	早川昌弘	小児科
82	日本周産期・新生児医学会雑誌 45(4):1196	新生児脳保護 IVH/PVL	早川昌弘	小児科
83	周産期学シンポジウム pp145-153	早産重症胎児発育不全severe preterm FGR(IUGR) 病因と病態 胎児発育不全モデルラットの中樞神経における組織学的および分子生物学的変化に関する研究	早川昌弘	小児科
84	小児内科/東京医学社 41:113-117	【小児疾患診療のための病態生理】新生児疾患 脳室周囲白質軟化症	早川昌弘	小児科
85	Epilepsia 50(S11):429	Thalamic involvement in patients with prolonged febrile seizures : A voxel-based morphometric study	夏目 淳	小児科
86	J Med Virol 81(8):1399-1402	Cytomegalovirus and Epstein-Barr virus coinfection in three toddlers with prolonged illnesses	伊藤嘉規	小児科
87	小児科臨床ピクシス11 pp152-157	単純ヘルペスウイルス感染症	伊藤嘉規	小児科
88	J Paediatr Hematol Oncol. 31(5):339-43	Plasmacytoid dendritic cell leukemia in children.	濱 麻人	小児科
89	日本小児血液学会雑誌 23巻2号:93-100	小児急性巨核芽球性白血病の細分類(総説)	濱 麻人	小児科
90	血液疾患ハンドブック-診療の手引きと臨床データ集-/医薬ジャーナル社 pp61-72	小児の再生不良性貧血	濱 麻人	小児科
91	International Journal of Hematology 89(4):409-13	Natural history of transfusion-independent non-severe aplastic anemia in children.	西尾信博	小児科
92	小児科診療 72巻増刊:271	【小児の症候群】血液・腫瘍 急性GVHD(解説/特集)	西尾信博	小児科
93	Bone Marrow Transplantation 44(5):303-8	Late-onset non-infectious pulmonary complications following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in children. Bone marrow transplantation.	西尾信博	小児科
94	Pediatric Transplantation 13(7):831-7	Engraftment syndrome following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in children. Pediatr Transplant.	西尾信博	小児科
95	白血病治療マニュアル pp310-4	小児に対する造血幹細胞移植療法時の注意点	西尾信博	小児科

96	Biol Blood Marrow Transplant. 16(2):231-8	Outcome of 125 children with CML who received transplants from unrelated donors: the Japan Marrow Donor Program (JMDF).	村松秀城	小児科
97	Blood 115(10):1969-75	Mutations of E3 ubiquitin ligase Cbl family members but not TET2 mutations are pathogenic in juvenile myelomonocytic leukemia.	村松秀城	小児科
98	日本小児血液学会雑誌 23巻2号:101-106	イマチニブ時代における小児Ph陽性慢性骨髄性白血病の治療戦略(総説)	村松秀城	小児科
99	あたらしい眼科 26(4):441-447	【未熟児網膜症診療 最近の考え方】最近の新生児管理	中山 淳	小児科
100	周産期医学/東京医学社 39(12):1687-1690	新生児痙攣に対するフェノバルビタール療法	佐藤義朗	小児科
101	Curr Stem Cell Res Ther 4:200-209	Chondroitin Sulfate, a Major Niche Substance of Neural Stem Cells, and Cell Transplantation Therapy of Neurodegeneration Combined with Niche Modification.	佐藤義朗	小児科
102	周産期医学 40(1):91-94	新生児管理 病院感染	邊見勇人	小児科
103	Experimental Neurology 219(1):81-92	Behavioral abnormalities of fetal growth retardation model rats with reduced amounts of brain proteoglycans.	齊藤明子	小児科
104	Journal of Infectious Disease	Immunologic and Virologic Analyses in Pediatric Liver Transplant Recipients with Chronic High Epstein-Barr Viral Loads	後藤研誠	小児科
105	Brain and development, 31(6):414-418	Efficacy of a diazepam suppository at preventing febrile seizure recurrence during a single febrile illness.	平林 優	小児科
106	Epilepsia 50(S11): 428	Diffusion tensor imaging and FDG-PET findings in cryptogenic West syndrome	深沢達也	小児科
107	アレルギー/日本アレルギー学会 58:1544-1547	鶏卵アレルギー物質スクリーニング検査キット「FASTKITエライザVer. II(卵)」の鶏卵タンパクの検出特性—改良点と問題点—	武藤太一郎	小児科
108	日本周産期・新生児医学会雑誌 45(4):1205-1207	新生児脳保護 IVH/PVL 脳室周囲白質軟化症の新生児期脳波所見	城所博之	小児科
109	Pediatrics International 51(5):742-744	Sudden unexpected cardiopulmonary arrest associated with influenza infection	城所博之	小児科
110	Pediatrics 124(3):e468-e475	Chronological changes in neonatal EEG findings in periventricular leukomalacia	城所博之	小児科
111	Int J Hematol. 90(2):174-6	Successful treatment with rituximab of refractory idiopathic thrombocytopenic purpura in a patient with Kabuki syndrome.	鳥居ゆか	小児科
112	Epilepsia 50(S11):433	White matter abnormalities in Glut1 deficiency syndrome: A diffusion tensor image study with SPM	中田智彦	小児科
113	Biological & Pharmaceutical Bulletin	Evaluation of interleukin-2 mRNA in whole blood as a parameter for monitoring cyclosporine pharmacodynamics.	山田 清文	薬剤部
114	Neuroscience Research	Neonatal poly:I:C treatment in mice results in schizophrenia-like behavioral and neurochemical abnormalities in adulthood.	山田 清文	薬剤部
115	Journal of Clinical Pharmacy and Therapeutics	Population pharmacokinetic analysis of vancomycin in patients with gram-positive infections and the influence of infectious disease type.	山田 清文	薬剤部
116	The Journal of Pharmacology and Experimental Therapeutics	Matrix metalloprotease-9 inhibition improves amyloid[beta]-mediated cognitive impairment and neurotoxicity in mice.	山田 清文	薬剤部
117	Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition	The Latent Risk of Acidosis in Commercially Available Total Parenteral Nutrition(TPN)Products:a Randomized Clinical Trial in Postoperative Patients.	山田 清文	薬剤部

118	Behavioural Brain Research	Behavioral abnormality and pharmacologic response in social isolation-reared mice.	山田 清文	薬剤部
119	Psychopharmacology	Therapeutic potential of nicotine for methamphetamine-induced impairment of sensorimotor gating: involvement of pallidotegmental neurons.	山田 清文	薬剤部
120	Behavioural Brain Research	Combined effect of neonatal immune activation and mutant DISC1 on phenotypic changes in adulthood.	山田 清文	薬剤部
121	Neuroscience Letters	Dysfunction of dopamine release in the prefrontal cortex of dysbindin deficient sandy mice: An in vivo microdialysis study.	山田 清文	薬剤部
122	Behavioural Brain Research	Oral supplementation with Leu-Ile, a hydrophobic dipeptide, prevents the impairment of memory induced by amyloid beta in mice via restraining the hyperphosphorylation of extracellular signal-regulated kinase.	山田 清文	薬剤部
123	日本緩和医療薬学雑誌	痛みの表現に基づく痛みの評価 —肺がん患者における痛みの表現と原因との関連性の検討—	山田 清文	薬剤部
124	Journal of clinical investigation	The growth factor midkine regulates the renin-angiotensin system in mice.	Hobo Akinori	腎臓内科
125	Stem Cells and Development	Novel culture system of mesenchymal stromal cells from human subcutaneous adipose tissue.	Iwashima Shigejiro	腎臓内科
126	Journal of the American Society of Nephrology	The E-Selectin Ligand Basigin/CD147 Is Responsible for Neutrophil Recruitment in Renal Ischemia/Reperfusion.	Kato Noritoshi	腎臓内科
127	American journal of kidney diseases	Revised Equations for Estimated GFR From Serum Creatinine in Japan.	Matsuo Seiichi	腎臓内科
128	Journal of immunology	Zymosan, but not lipopolysaccharide, triggers severe and progressive peritoneal injury accompanied by complement activation in a rat peritonitis model.	Mizuno Masashi	腎臓内科
129	American journal of physiology—Renal physiology	Tissue-type plasminogen activator deficiency attenuates peritoneal fibrosis in mice.	Kurata Kei	腎臓内科
130	ORIGINAL ARTICLE	A Combination Therapy of Gemcitabine With Immunotherapy for Patients With Inoperable Locally Advanced Pancreatic Cancer	Yoshiki Hirooka (廣岡芳樹)	光学医療診療部
131	Pediatr Surg Int	Different polyunsaturated fatty acid profiles in patients with biliary atresia after successful Kasai operation and liver transplantation	W.Sumida, K.Kaneko, Y.Ono, T.Tainaka, H.Ando	小児外科
132	Dig Dis Sci	Acidic and basic solutions dissolve protein plugs made of lithostathine complicating choledochal cyst/pancreaticobiliary maljunction	K.Kaneko, Y.Ono, T.Tainaka, W.Sumida, H.Ando	小児外科
133	Pediatr Surg Int	Thoracoscopic lobectomy for congenital cystic lung diseases in neonates and small infants	K.Kaneko, Y.Ono, T.Tainaka, W.Sumida, Y.Kawai, H.Ando	小児外科
134	Jpn J Clin Oncol	The feasibility study of docetaxel in patients with anaplastic thyroid cancer.	Kenji Kawada	化学療法部
135	J Clin Oncol.	Successful treatment with meloxicam, a cyclooxygenase-2 inhibitor, of patients with extra-abdominal desmoid tumors: a pilot study.	Nishida Y, Tsukushi S, Shido Y, Wasa J, Ishiguro N, Yamada Y.	整形外科

136	J Pediatr Orthop.	Radiographic analysis of movements of the acetabulum and the femoral head after Salter innominate osteotomy.	Kitoh H, Kaneko H, Ishiguro N.	整形外科
137	J Psychosom Res.	Psychosocial factors, disease status, and quality of life in patients with rheumatoid arthritis.	Kojima M, Kojima T, Ishiguro N, Oguchi T, Oba M, Tsuchiya H, Sugiura F, Furukawa TA, Suzuki S, Tokudome S.	整形外科
138	Clin Exp Metastasis.	Prognostic value of indoleamine 2,3-dioxygenase expression in high grade osteosarcoma.	Urakawa H, Nishida Y, Nakashima H, Shimoyama Y, Nakamura S, Ishiguro N.	整形外科
139	J Orthop Sci.	Regulation of prostaglandin E(2) synthesis in cells derived from chondrocytes of patients with osteoarthritis.	Shimpo H, Sakai T, Kondo S, Mishima S, Yoda M, Hiraiwa H, Ishiguro N.	整形外科
140	Immunol Cell Biol.	Intra-bone marrow bone marrow transplantation rejuvenates the B-cell lineage in aged mice.	Hida D, Ishiguro N, Hanedata M, Ishida Y, Suzuki H, Isobe K.	整形外科
141	J Neurosurg Spine.	Image classification of idiopathic spinal cord herniation based on symptom severity and surgical outcome: a multicenter study.	Imagama S, Matsuyama Y, Sakai Y, Nakamura H, Katayama Y, Ito Z, Wakao N, Sato K, Kamiya M, Kato F, Yukawa Y, Miura Y, Yoshihara H, Suzuki K, Ando K, Hirano K, Tauchi R, Muramoto A, Ishiguro N.	整形外科
142	BMC Pulm Med.	Protective effect of geranylgeranylacetone, an inducer of heat shock protein 70, against drug-induced lung injury/fibrosis in an animal model.	Fujibayashi T, Hashimoto N, Jijiwa M, Hasegawa Y, Kojima T, Ishiguro N.	整形外科
143	J Pediatr Orthop.	Differential effects of culture-expanded bone marrow cells on the regeneration of bone between the femoral and the tibial lengthenings.	Kitoh H, Kawasumi M, Kaneko H, Ishiguro N.	整形外科
144	J Pediatr Orthop.	Predictive factors for unsuccessful treatment of developmental dysplasia of the hip by the Pavlik harness.	Kitoh H, Kawasumi M, Ishiguro N.	整形外科

145	Med Eng Phys.	The effect of impact direction on the fracture load of osteoporotic proximal femurs.	Wakao N, Harada A, Matsui Y, Takemura M, Shimokata H, Mizuno M, Ito M, Matsuyama Y, Ishiguro N.	整形外科
146	Arthritis Rheum.	Depression, inflammation, and pain in patients with rheumatoid arthritis.	Kojima M, Kojima T, Suzuki S, Oguchi T, Oba M, Tsuchiya H, Sugiura F, Kanayama Y, Furukawa TA, Tokudome S, Ishiguro N.	整形外科
147	Spine (Phila Pa 1976).	Spinal myxopapillary ependymoma: neurological deterioration in patients treated with surgery.	Sakai Y, Matsuyama Y, Katayama Y, Imagama S, Ito Z, Wakao N, Kanemura T, Yoshida G, Sato K, Ando T, Nakamura H, Kato F, Yukawa Y, Ito K, Ishiguro N.	整形外科
148	Biochem Biophys Res Commun.	Thyroid hormone non-genomically suppresses Src thereby stimulating osteocalcin expression in primary mouse calvarial osteoblasts.	Asai S, Gao X, Yamauchi M, Funahashi K, Ishiguro N, Kambe F.	整形外科
149	J Thorac Oncol.	Soft tissue sarcomas of the chest wall.	Tsukushi S, Nishida Y, Sugiura H, Nakashima H, Ishiguro N.	整形外科
150	J Neurosurg Spine.	Surgical results of intramedullary spinal cord tumor with spinal cord monitoring to guide extent of resection.	Matsuyama Y, Sakai Y, Katayama Y, Imagama S, Ito Z, Wakao N, Sato K, Kamiya M, Yukawa Y, Kanemura T, Yanase M, Ishiguro N.	整形外科
151	Eur Spine J.	The relationship between the type of destructive spondyloarthropathy and its 10 years ago cervical spine alignment.	Maruyama K, Matsuyama Y, Yanase M, Sakai Y, Katayama Y, Imagama S, Ito Z, Wakao N, Yukawa Y, Ito K, Kamiya M, Kanemura T, Sato K, Ishiguro N.	整形外科

152	Eur Spine J.	Indirect posterior decompression with corrective fusion for ossification of the posterior longitudinal ligament of the thoracic spine: is it possible to predict the surgical results?	Matsuyama Y, Sakai Y, Katayama Y, Imagama S, Ito Z, Wakao N, Yukawa Y, Ito K, Kamiya M, Kanemura T, Sato K, Ishiguro N.	整形外科
153	Clin Orthop Relat Res.	Similar survival of eccentric rotational acetabular osteotomy in patients younger and older than 50 years.	Yamaguchi J, Hasegawa Y, Kanoh T, Seki T, Kawabe K.	整形外科
154	J Arthroplasty.	Accurate acetabular component orientation after total hip arthroplasty using an acetabular alignment guide.	Kanoh T, Hasegawa Y, Masui T, Yamaguchi J, Kawabe K, Ishiguro N.	整形外科
155	FEMS Immunol Med Microbiol	Seroprevalence of Fusobacterium varium in ulcerative colitis patients in Japan.	Masaaki Minami, Takafumi Ando, Akira Okamoto, Nobutaka Sasaki, Teruko Ohkura, Keizo Torii, Tadao Hasegawa, Michio Ohta, Hidemi Goto.	消化器内科
156	Hepato-Gastroenterology	Relationship between nutritional therapy and surgery in Crohn's disease.	Hironao Takahashi, Takafumi Ando, Osamu Watanabe, Osamu Maeda, Kazuhiro Ishiguro, Masaaki Minami, Yasuyuki Goto, Kazuo Kusugami, Kenji Ina, Naoki Ohmiya, Yasumasa Niwa, Hidemi Goto.	消化器内科
157	Hepato-Gastroenterology	Clinicopathological study of colorectal cancer occurring in patients with ulcerative colitis: results from a single hospital in Japan.	Takayoshi Fujita, Takafumi Ando, Osamu Watanabe, Motofusa Hasegawa, Nobuyuki Miyake, Shinya Kondo, Tsuyoshi Kato, Ryoji Miyahara, Naoki Ohmiya, Yasumasa Niwa, Hidemi Goto.	消化器内科

158	Digestive and Liver Disease	Role of endoscopic ultrasonography in predicting the response to cyclosporine A in ulcerative colitis refractory to steroids.	Osamu Watanabe, Takafumi Ando, E.M. El-Omar, Masaaki Shimada, Kenji Ina, Kazuhiro Ishiguro, Motofusa Hasegawa, Nobuyuki Miyake, Masanao Nakamura, Ryouji Miyahara, Naoki Ohmiya, Yasumasa Niwa, Hidemi	消化器内科
159	Digestion	Geranylgeranylacetone Protects against Diclofenac-Induced Gastric and Small Intestinal Mucosal Injuries in Healthy Subjects: A Prospective Randomized Placebo-Controlled Double-Blind Cross-Over Study.	Yasumasa Niwa, Masanao Nakamura, Ryoji Miyahara, Naoki Ohmiya, Osamu Watanabe, Takafumi Ando, Hiroki Kawashima, Akihiro Itoh, Yoshiki	消化器内科
160	Journal of Gastroenterol Hepatol	Pilot study on confocal endomicroscopy for determination of the depth of squamous cell esophageal cancer in vivo.	Youichi Iguchi, Yasumasa Niwa, Ryoji Miyahara, Masanao Nakamura, Kakunori Banno, Toshihiko Nagaya, Tetsurou Nagasaka, Osamu Watanabe, Takafumi Ando, Hiroki Kawashima, Naoki Ohmiya, Akihiro Itoh,	消化器内科
161	Clinical Journal of Gastroenterolo	Treatment of intraabdominal desmoplastic small round cell tumor with ifosfamide-based chemotherapy .	Masaki Ujihara, Takafumi Ando, Osamu Watanabe, Takahiro Asada, Katsuya Yamashita, Toru Ichihara, Etsuko Nakamura,	消化器内科

162	Asian Pac J Cancer Prev	Endoscopic observation of N-methyl-N'-nitro-N-nitrosoguanidine-induced gastric carcinogenesis in rat using a newly-developed flexible endoscope.	Shinya Kondo, Takeshi Toyoda, Atsushi Maruyama, Shinichi Morita, Hidetoshi Sato, Yuichi Komachi, Genichi Kanai, Takafumi Ando, Hidemi Goto, Masae Tatematsu, Tetsuya	消化器内科
163	BMC Gastroenterology	Novel application of low pH-dependent fluorescent dyes to examine colitis.	Kazuhiro Ishiguro, Takafumi Ando, Osamu Watanabe, Hidemi Goto.	消化器内科
164	胃と腸	癌や炎症と鑑別困難な十二指腸・小腸悪性リンパ腺 内視鏡診断を中心に.	丹羽康正, 中村正直, 大宮直木, 森嶋賢治, 白井修, 宮原良二, 安藤貴文, 後藤秀実.	消化器内科
165	胃と腸	【小腸疾患 小病変の診断と治療の進歩】小さな小腸病変に対するカプセル内視鏡,ダブルバルーン内視鏡,小腸X線の診断能の比較	大宮直木, 中村正直, 白井修, 竹中宏之, 森嶋賢治, 山村健史, 宮原良二, 渡辺修, 安藤貴文, 丹羽康正, 後藤秀実.	消化器内科
166	癌と化学療法	S-1/Paclitaxel併用療法が奏効した癌性腹膜炎を伴った手術不能進行・再発胃癌の2例.	伊奈研次, 古田竜一, 片岡孝江, 西尾智子, 長尾清治, 粥川哲, 正木彩子, 安藤貴文, 後藤秀実.	消化器内科
167	日本消化器病学会雑誌.	回腸静脈瘤破裂をきたしたC型肝硬変の1例	鈴木貴久, 村山睦, 篠田昌孝, 高士ひとみ, 内山功子, 森瀬和宏, 宇佐美彰久, 辻秀樹, 春木伸裕, 田代和弘, 安藤貴文, 後藤秀実.	消化器内科
168	Intestine	【小腸疾患に対する最新のアプローチ】疾患ごとのアプローチを考える 小腸潰瘍性病変 NSAIDs起因性潰瘍 ダブルバルーン内視鏡を中心に.	山村健史, 大宮直木, 中村正直, 白井修, 竹中宏之, 森嶋賢治, 宮原良二, 安藤貴文, 後藤秀実.	消化器内科

169	Frontiers in Gastroenterology	Color Gravure:小腸の内視鏡所見NSAIDs潰瘍	山村健史, 大宮直木, 中村正直, 白井修, 竹中宏之, 森島賢治, 宮原良二, 渡辺修, 安藤貴文, 後藤秀実.	消化器内科
170	日本消化器内視鏡学会雑誌	原因不明の消化管出血例におけるカプセル内視鏡の診断的意義.	中村正直, 大宮直木, 宮原良二, 安藤貴文, 渡辺修, 川嶋啓揮, 伊藤彰浩, 廣岡芳樹, 丹羽康正, 後藤秀実.	消化器内科
171	日本消化器内視鏡学会雑誌.	大腸への転移病変から診断された前立腺癌の1例	藤田孝義, 榊原真肇, 側島友, 細田和貴, 安藤貴文, 後藤秀実.	消化器内科
172	IBD Research	【わが国のIBDの実態をみる 疫学研究より】クローン病の予後 J-TREAT研究の現況.	松本善之, 鷹田知史, 鈴木康夫, 伊藤裕章, 富田寿彦, 千葉俊美, 谷島麻利, 飯塚文瑛, 安藤貴文, 前田修, 渡辺修, 辻川知之, 松浦稔, 中瀬裕志, 久保田大輔, 長堀正和, 渡辺守, 緒方晴彦, 長沼誠, 岡本晋, 市川仁志, 高田康裕, 本谷聡, 下立雄一, 渡邊秀平, 佐々木誠人, 石黒陽, 桜庭裕文, 長坂光夫, 阪上順一, 小林清典, 猿田雅之, 高後裕, 日比紀文, J-TREAT研究	消化器内科
173	胃と腸	出血性小腸疾患 内視鏡診断・治療の最前線】出血性小腸疾患の診断 血管性病変.	山村健史, 大宮直木, 中村正直, 竹中宏之, 森島賢治, 石原誠, 宮原良二, 渡辺修, 安藤貴文, 川嶋啓揮, 伊藤彰浩, 廣岡芳樹, 後藤秀実.	消化器内科
174	Cancer Sci.	Irrespective of GD34 expression, lineage-committed cell fraction reconstitutes and re-establishes transformed Philadelphia chromosome-positive leukemia in NOD/SCID/IL-2R γ mac $^{-/-}$ mice.	Tanizaki R, Naoe T, et al.	血液内科
175	Eur J Haematol.	BCR-ABL-independent and RAS / MAPK pathway-dependent form of imatinib resistance in Ph-positive acute lymphoblastic leukemia cell line with activation of EphB4.	Suzuki M, Naoe T, et al.	血液内科
176	Stem Cells.	Cyclin C regulates human hematopoietic stem/progenitor cell quiescence.	Miyata Y, Naoe T, et al.	血液内科
177	J Hum Genet	Mutation of ARHGAP9 in patients with coronary spastic angina.	Takefuji M, Naoe T, et al.	血液内科

178	Blood.	Diagnosis and management of acute myeloid leukemia in adults: recommendations from an international expert panel, on behalf of the European LeukemiaNet.	Döhner H, Estey EH, Naoe T, et al.	血液内科
179	Thromb Res.	Impaired secretion of carboxyl-terminal truncated factor VII due to an F7 nonsense mutation associated with FVII deficiency.	Tanaka R, Naoe T, et al.	血液内科
180	J Immunol.	GTL clones isolated from an HLA-Cw-mismatched bone marrow transplant recipient with acute graft-versus-host disease.	Sugimoto K, Naoe T, et al.	血液内科
181	Biochem Biophys Res Commun.	Escape mechanisms from antibody therapy to lymphoma cells: downregulation of CD20 mRNA by recruitment of the HDAC complex and not by DNA methylation.	Sugimoto T, Naoe T, et al.	血液内科
182	Lancet Oncol.	Presentation and management of intravascular large B-cell lymphoma.	Shimada K, Naoe T, et al.	血液内科
183	Blood.	KW-2449, a novel multikinase inhibitor, suppresses the growth of leukemia cells with FLT3 mutations or T315I-mutated BCR/ABL translocation.	Shiotsu Y, Naoe T, et al.	血液内科
184	Bone Marrow Transplant.	Donor single nucleotide polymorphism in the CCR9 gene affects the incidence of skin GVHD.	Inamoto Y, Naoe T, et al.	血液内科
185	Leuk Res	Role of microRNA-143 in Fas-mediated apoptosis in human T-cell leukemia Jurkat cells.	Akao Y, Naoe T, et al.	血液内科
186	Br J Haematol.	CMC-544 (inotuzumab ozogamicin) shows less effect on multidrug resistant cells: analyses in cell lines and cells from patients with B-cell chronic lymphocytic leukaemia and lymphoma.	Takeshita A, Naoe T, et al.	血液内科
187	Leukemia.	CMC-544 (inotuzumab ozogamicin), an anti-CD22 immun-conjugate of calicheamicin, alters the levels of target molecules of malignant B-cells.	Takeshita A, Naoe T, et al.	血液内科
188	Biochem Biophys Res Commun.	p27 deregulation by Skp2 overexpression induced by the JAK2V617 mutation.	Furuhata A, Naoe T, et al.	血液内科
189	Am J Hematol.	Combinations of cytogenetics and international scoring system can predict poor prognosis in multiple myeloma after high-dose chemotherapy and autologous stem cell	Inamoto Y, Naoe T, et al.	血液内科
190	Eur J Haematol.	Comprehensive analysis of cooperative gene mutations between class I and class II in de novo acute myeloid leukemia.	Ishikawa Y, Naoe T, et al.	血液内科
191	Blood.	Down-regulation of CD20 expression in B-cell lymphoma cells after treatment with rituximab-containing combination chemotherapies: its prevalence and clinical significance.	Hiraga J, Naoe T, et al.	血液内科
192	Leukemia.	GATA-1 and GATA-2 binding to 3' enhancer of WT1 gene is essential for its transcription in acute leukemia and solid tumor cell lines.	Furuhata A, Naoe T, et al.	血液内科
193	Bone Marrow Transplant.	Clinicopathological manifestations and treatment of intestinal transplant-associated microangiopathy.	Inamoto Y, Naoe T, et al.	血液内科
194	J Orthop Res.	Novel Polysaccharide-derived hydrogel prevents erineural adhesions in a rat model of sciatic nerve adhesion.	山本 美知郎	手の外科
195	J Orthop Sci.	Importance of distal radioulnar joint arthroscopy for evaluating the triangular fibrocartilage complex.	山本 美知郎	手の外科
196	日本口腔外科学会雑誌	骨延長法により2次修正をした血管柄付き肩甲骨による下顎再建の1例	日比英晴	歯科口腔外科
197	Growth Factors.	Limited but heterogeneous osteogenic response of human bone marrow mesenchymal stem cells to bone morphogenetic protein-2 and serum.	Mizuno D	歯科口腔外科
198	J Craniofac Surg	Self-assembling peptide nanofiber scaffolds, platelet-rich plasma, and mesenchymal stem cells for injectable bone regeneration with tissue engineering.	Yoshimi R	歯科口腔外科
199	Nippon Rinsho	Regenerative medicine for anti-aging	Ebisawa K	歯科口腔外科
200	J Oral Maxillofac Surg.	Effects of cortical bone perforation on periosteal distraction: an experimental study in the rabbit mandible.	Oda T	歯科口腔外科

201	Nagoya J Med Sci	The induction of dentin bridge-like structures by constructs of subcultured dental pulp-derived cells and porous HA/TCP in porcine teeth.	Ando Y	歯科口腔外科
202	Cytherapy	Injectable soft-tissue augmentation by tissue engineering and regenerative medicine with human mesenchymal stromal cells, platelet-rich plasma and hyaluronic acid scaffolds	Okabe K	歯科口腔外科
203	J Biomed Mater Res	Composite implantation of mesenchymal stem cells with endothelial progenitor cells enhances tissue-engineered bone formation.	Usami K	歯科口腔外科
204	J Oral Maxillofac Surg	Stability of a locking plate and self-drilling screws as orthodontic skeletal anchorage in the maxilla: a retrospective study.	Hibi H	歯科口腔外科
205	J Biomed Mater Res A.	Recovery process of sciatic nerve defect with novel bioabsorbable collagen tubes packed with collagen filaments in dogs.	Okamoto H	歯科口腔外科
206	Tissue Eng Part C Methods.	A Compact, Automated Cell Culture System for Clinical Scale Cell Expansion from Primary Tissues.	Kato R	歯科口腔外科
207	Cells Tissues Organs.	Effects of extracellular matrix on differentiation of human bone marrow-derived mesenchymal stem cells into smooth muscle cell lineage: utility for cardiovascular tissue engineering.	Suzuki S	歯科口腔外科
208	J Endod	Stem cell proliferation pathways comparison between human exfoliated deciduous teeth and dental pulp stem cells by gene expression profile from promising dental pulp.	Nakamura S	歯科口腔外科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 松尾清一
管理担当者氏名	副病院長 石黒直樹 医療の質・安全管理部長 後藤百万 薬剤部長 山田清文 総務課長 川村篤 医事課長 長谷川浩一

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		中央管理 薬剤部 総務課	疾病分類 ICD-10 管理形態 外来カルテ・入院カルテ 1患者1電子カルテで中央管理(一部紙媒体にて保存)
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	総務課	
	高度医療の提供の実績	医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課・医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部	
	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療の質・安全管理部		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療の質・安全管理部		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療の質・安全管理部		
当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療の質・安全管理部		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の1第1項各号及び第9条の2第3号第1項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	医療の質・安全管理部	
	院内感染のための委員会の開催状況	医療の質・安全管理部	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	医療の質・安全管理部	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療の質・安全管理部	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学技術部	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学技術部	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学技術部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学技術部		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 青山正晴
閲覧担当者氏名	総務課長 川村篤 医事課長 長谷川浩一 医療サービス課長 中西達公
閲覧の求めに応じる場所	総務課(中央診療棟7階) 医事課(外来診療棟) 医療サービス課(中央診療棟4階)

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	65.2%	算定期間	平成21年4月1日～平成22年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数	15,879人	
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	10,092人	
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数	473人	
	D : 初診の患者の数	30,494人	

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入する;
2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・指針の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理に対する基本的な考え方 ・医療事故防止に対する基本的な姿勢と組織体制 ・医療の安全に関する職員計画 ・医療事故の定義と医療事故発生時の報告・対応指針 ・指針の閲覧に関する基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 16 回
<p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療事故の防止及び医療安全推進に関する事項 ・医療上の紛争処理に関する事項 ・医療の質向上に関する事項 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 27 回
<p>・研修の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象とした医療安全研修「患者安全の取組み」「医療安全の基本」「医療事故防止対策」などの研修を実施 ・新規・中途採用職員について、採用時に「病院の理念・目標」「情報管理」「インシデントレポートシステム」等の医療安全研修を実施 ・全職員を対象とした「転倒転落事故防止」の講演会を実施 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒転落院内統一アセスメントシートの作成(電子化) ・深部静脈血栓・肺塞栓症予防システムの改善(変更) 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(3 名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>・所属職員：専任(2)名 兼任(15)名</p> <p>・活動の主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント、医療事故情報の収集、スクリーニング及び事実関係の調査に関すること ・インシデント、医療事故の分析について中心的役割を果たし、根本原因を究明すること ・医療事故発生時の現場の記録、関係者間の調整に関すること ・医療安全と医療の質向上について調査・研究を行い、病院全体のシステム改善のための提言を行うこと ・医療安全と医療の質向上に係る教育研修に関すること ・医療の質向上と安全推進委員会その他医療の質・安全管理関連の会議で用いられる資料及び議事録の作成・保存並びに会議の庶務に関すること ・その他医療の質向上と安全推進に関すること 	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策に関する基本的な考え方 ・院内感染対策のための委員会と組織 ・院内感染対策のための従業者に対する研修に関する事項 ・感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ・院内感染発生時の対応に関する基本方針 	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
・活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染の予防及び対策等に関する事項 ・患者の取り扱いに関する事項 ・医療従事者への感染予防に関する事項 ・その他、院内感染及び難治感染症対策に関する事項 	
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 29 回
・研修の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象とした「感染対策Do&Don't」「感染対策について」「新型インフルエンザ特別講演会」などの研修等を実施 ・新規・中途採用職員について採用時に感染対策研修を実施 ・清掃業務、廃棄物運搬・収集業務従事者を対象に「感染管理研修」を実施 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	
・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・手指衛生チェックを中心としたICTラウンドの実施 	

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・活動の主な内容</p> <p>新任看護師を対象とした「与薬および麻薬管理について」、看護師を対象とした「静脈注射教育」、「抗がん剤の副作用とその対策」、医師および看護師を対象とした「インスリン勉強会」等。</p> <p>その他、回数に入れていないが部内、病棟単位での勉強会など多数</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	年 ー 回
<p>・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・業務の主な内容 本院の手順書(医薬品の採用・購入に関する事項、管理に関する事項、投薬指示から調剤に関する事項、与薬や服薬指導に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項、ハイリスク薬剤の取扱い、他施設との連携に関する事項、業務手順書に基づく業務の遂行に関する事項)に基づき実施している。</p> <p>また、国立大学病院間で行っている医療安全相互チェックにて他施設から実施状況などの評価を受けている。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>院内で報告されるインシデントレポートから業務手順等の見直しを行っている。</p> <p>医薬品の安全性情報および採用に係る事項については薬事委員会で審議している。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	1年 1回
・活動の主な内容 新人看護師入職時に輸液ポンプなど全科共有機器の講義と取り扱いの実技講習を、また同時期に医療ガスについても実施している。 人工呼吸器については、診療科および病棟単位にて実技講習を兼ねた講義を実施しており、その他、依頼のあった機器については	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	1年 1回
・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・保守点検の主な内容 メーカーより推奨されたものを確認し、院内の臨床工学技士で作業できるものを除外し、計画を立案し実施している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 新規導入機器を含め情報収集には取り組んではいるが、現在、医療機器台帳と現有機器の整合作業中である。 今後は、PDF化などにより電子カルテからの閲覧も含めて行えるよう計画中である。	